

名古屋大学地球水循環研究センター平成 24 年度共同研究集会プログラム
「衛星による陸上の高精度降水推定技術の開発と
その水文学への利用の研究企画のための集会」

(提案者：気象研究所 青梨和正、名大側担当者：中村健治)

日時： 2013 年 2 月 28 日(木)午後、3 月 1 日(金)午前

場所： 名古屋大学野依記念学術交流館 1 階会議室

テーマ 「GPM に向けた研究 & 開発」



GSMap

プログラム

2 月 28 日 (木) 13:00~18:00

13:00-13:10 はじめに 中村健治(名古屋大 HyARC)

13:10-13:30 「AMSR-E/AMSR2 の状況および初期校正検証結果」

可知美佐子、今岡啓治、前田崇、直木和弘、奥山新 (JAXA/EORC)

13:30-13:50 「新しい TMI 陸上降水リトリーバルアルゴリズムの開発」

青梨和正 (気象研)

13:50-14:10 「GSMap 地形性降雨推定に用いる降水プロファイルの検討と検証」

山本宗尚、重尚一 (京都大大学院理学研究科)

14:10-14:30 「GSMap_SSM/I・SSMIS 打ち上げ時アルゴリズムの開発」

久保田拓志 (JAXA/EORC)

14:30-15:00 (休憩、写真撮影)

15:00-15:20 「衛星搭載マイクロ波放射計降雨判定への動的海陸フラグの導入」

妻鹿友昭、重尚一 (京都大大学院理学研究科)

15:20-15:40 「GPM へ向けたマイクロ波サウンダアルゴリズムの開発状況」

木田智史 (JAXA/EORC)

15:40-16:00 「GPM に向けた射出率の開発」

古澤(秋元)文江、増永浩彦、中村健治 (名古屋大 HyARC)

16:00-16:20 「熱帯大気の準 2 日振動に関する衛星観測データを用いた研究」

角ゆかり (名古屋大大学院環境学研究科)、増永浩彦 (名古屋大 HyARC)

16:20-16:40 (休憩)

16:40-17:00 「GSMaP 再解析 (V5.222.1) の標準雨量計補正データ解析」

田島知子、東上床智彦、荒井頼子、原田礼子(リモート・センシング技術センター)、牛尾知雄(大阪大)

17:00-17:20 「2010 年パキスタン洪水流出解析に利用する地上・衛星雨量データの比較検証」

藤岡巽、杉浦愛、鍋坂誠志、上米良秀行、深見和彦(土木研究所 ICHARM)

17:20-17:40 「レーダ反射強度または降雨強度で定義される極端現象に見られる特徴」

濱田篤、高藪縁(東京大 AORI)、井口俊夫(NICT)

17:40-18:00 「TRMM PR データを用いた梅雨期における日本付近の降水特性変化の解析」

横山千恵、高藪縁(東京大 AORI)、金田幸恵(筑波大)

3月1日 (金) 09:00~11:00

09:00-09:20 「フェーズドアレイ気象レーダによる衛星降水推定検証の検討」

佐藤晋介(NICT)、牛尾知雄(大阪大)、水谷文彦(東芝)、

花土弘、川村誠治、浦塚清峰、井口俊夫(NICT)

09:20-09:40 「DPR-L2 標準アルゴリズム開発の現状と展望」

瀬戸心太(長崎大学)

09:40-10:00 「レーダ降雨強度推定のための DSD モデル化 : 対数正規モデルとガンマモデルの比較」

渡邊祐里子(島根大総合理工学部)、古津年章、下舞豊志(島根大大学院総合理工学研究科)

10:00-10:50 総合討論 「今後の降水リトリーバルのありかたについて」

10:50-11:00 おわりに 青梨和正(気象研)